

# プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で昼も夜も星空満喫～

定員25名で実施中

## 1. プラネタリウム ☆7月23日(土)～8月21日(日)は、毎日

1日4回の投影となります。8月24日(水)からは平日3回、土日祝4回投影にもどります。さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナル番組「470億光年の、その先へ」を投影しています。観覧の際は、引き続き感染防止につきましてご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

7月23日(木)～8月21日(日)の期間の土曜日・日曜日、8月11日(木)と12日(金)の「星まつり」の日のプラネタリウムには事前予約が必要になります。

定員25名、要予約で実施中

## 2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を25名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。個人の方(お一人からご予約できます)はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



### 8月の注目天体情報

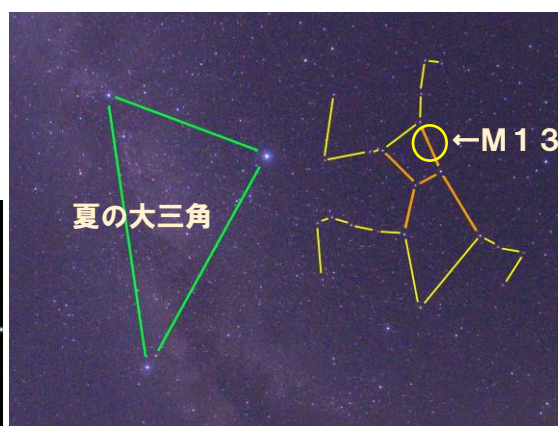
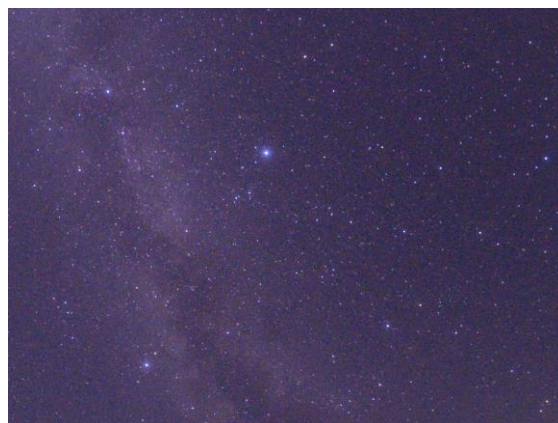
#### ☆見ごろの星座：ヘルクレス座

ギリシャ神話に登場する12の大冒険を成し遂げた英雄として知られた星座です。夏の夜空では、ちょうど頭の真上にやってきましたが、明るい星がなく3等星と4等星をつないで形作られます。夏の大三角を頼りにして西側の真ん中がへこんだHの形になる星たちを探してみてください。

#### ☆ヘルクレス座の天体

ヘルクレス座の一番の見ものは、北天で最も美しいともいわれる球状星団M13です。見かけの大きさも満月の3分の1ほどあり見ごたえ抜群です。実際には直径100光年ほどの空間に50万個ほどの星が大集合しています。

地球からの距離は2万5千光年ほど離れてます。双眼鏡があればぼんやりとした姿をヘルクレス座の中に確認することができます。



#### ☆テレビ観望システム

4月から10月までは毎週金・土の観察会で運用します。103cm大型望遠鏡で天体を直接観察することに加え、リアルタイムにモニターに映し出される天体映像を、専門職員の解説付きで観賞していただけます。このシステムは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(令和2年度)を活用して整備されました。

